

誰一人  
取り残さない  
いのち輝く未来をつくる

# 阪大SDGs学のススメ。

オンライン  
ランチタイム交流会①

2020.11.27 Fri. 12:10-13:10

- 開催方法：オンライン（Web会議システム ZOOM）
- 対象・定員：阪大生（学部生・院生）先着30名

\*途中参加・途中退席OK！  
お昼ごはんを食べながら  
気軽におこしください

この秋から大阪大学においてSDGsの達成に向けた研究・教育の推進が本格的にスタートします。教職員のみならず、未来と現在の社会の担い手である学生にとっても、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」とSDGsは重要な目標です。「学生の集い」では、これから数回にわたってSDGsを中心的なテーマに取り上げ、SDGsに取り組むさまざまなゲストの話を聞きながら、参加者同士で語り合い、分かち合う機会をつくりたいと思います。SDGsに世界がコミットメントするなど、サステナビリティが社会の重要課題になり、コロナ禍がそれをさらに強めるなか、SDGsについて一緒に考えてみませんか。「SDGsってなんだろう？」という人も、「関心あるけど何をしたらいいかわからない」という人も、ぜひご参加ください。

## 話題提供者



申し込みはこちら  
<締め切り11/26>

## ● 「世界の課題を君たちが解決する」

| 田和正裕 グローバルイニシアティブ・センター特任教授

## ● 「あなたの誠実さと勇気が社会をサステナブルにする」

| 上須道徳 COデザインセンター特任准教授

\*第2回目のオンラインランチタイム交流会は、  
12月22日（火）を予定しています。ゲストにも  
ご期待ください！学生からの話題提供も  
募集しています。

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの頭文字をとった略称で、持続可能な開発目標と訳されます。2015年に国連サミットで採択された2030アジェンダは、「誰一人取り残さない」ことを誓い、持続可能な世界を実現するための17の目標と169の具体的な指標を定めています。SDGsのこうした理念は、SSIの「命を大切に、一人一人が輝く社会」、「命をまもる、はぐくむ、つなぐ」という理念や視点と一致します。

## 堂目卓生SSI長から メッセージ動画 配信！

- SSIの取り組みとSDGsについて
- 「阪大SDGs学」とは？
- 学生に期待していること etc



動画視聴はこちら



# 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ（SSI）とは？

命を大切にし、一人一人が輝く社会を目指して



大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的な真理を追求するためのシンクタンクとして、2018年に「社会ソリューションイニシアティブ（SSI）」を始動させました。SSIは「命を大切にし、一人一人が輝く社会」の実現に向けて、心あるみなさまとともに、場をつくり、以下のようなプロジェクトを推進するとともに、学生も巻き込んだかたちで未来を構想していきます。



基幹プロジェクト：地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築

プロジェクト・リーダー：稲場圭信 人間科学研究科教授



基幹プロジェクト：教育の効果測定

プロジェクト・リーダー：大竹文雄 経済学研究科教授



基幹プロジェクト：共生対話の構築

プロジェクト・リーダー：松野明久 国際公共政策研究科教授



基幹プロジェクト：SDGs 指標の改善を通じた環境サステナビリティの促進

プロジェクト・リーダー：大久保規子 法学研究科教授



基幹プロジェクト：一人ひとりの死生観と健康自律を支える超高齢社会の創生

プロジェクト・リーダー：佐藤真一 人間科学研究科教授



基幹プロジェクト：健康・医療のための行動科学によるシステム構築

プロジェクト・リーダー：平井啓 人間科学研究科准教授



基幹プロジェクト：アフリカの非正規市街地をフィールドとした持続型都市社会モデルの構築

プロジェクト・リーダー：木多道宏 工学研究科教授



基幹プロジェクト：社会課題を解決するためのコミュニケーション能力の開発

プロジェクト・リーダー：山崎吾郎 CO デザインセンター准教授



協力プロジェクト：東南アジアと日本における持続的な食糧生産と消費の構築

プロジェクト・リーダー：住村欣範 グローバルイニシアティブ・センター准教授



協力プロジェクト：大学と地域の共創による生物多様性保全

プロジェクト・リーダー：古屋秀隆 理学研究科准教授／吉岡聡司 サステイナブルキャンパスオフィス准教授



協力プロジェクト：多文化共生のまちづくりにおける学びのデザイン化拠点の創出

プロジェクト・リーダー：宋悟 NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと事務局長／ほんまなほ CO デザインセンター教授／榎井縁 人間科学研究科附属未来共創センター教授

## 11月27日 話題提供者からのメッセージ

**田和正裕**  
グローバルイニシアティブ  
・センター  
特任教授

これまでJICAにおいて、新規事業の企画立案、プロジェクト管理と国際協力人材の確保活用に従事。海外ではインドネシアに駐在。持続可能な開発目標（SDGs）の策定過程では、開発課題担当参事役としてフォロー。「世の中のSDGsの取り組みが、学生の皆さんにとってどのように捉えられているのか、生の声を聞かせていただく良い機会だと考えており、楽しみにしています。」

サステナビリティ学・経済学が専門。「ヘレンケラーは宝石のような言葉をたくさん残してくれましたが、大学人としてとても影響を受けたものがあります。『科学は人類の困難をたくさん解決してきたけれども最悪のものに対しては何もできていないーその最悪のものは人間の無関心である』という言葉です。これだけ科学技術が発達した21世紀になってSDGsが必要になっている根本的な原因は私たちの無関心にあるかもしれません。この無関心さを打破するには何が必要で何ができるのか？ぜひ皆さんと語り合ってみたいと思います。」

**上須道德**  
COデザインセンター  
特任准教授